

Be-News

別府大学のアツい想いをスクープ



別府大学
別府大学短期大学部

NO.114
2017 SPRING

Beppu University, Beppu University Junior College Magazine

Be-News



地域連携
卒業生インタビュー
こんにちは先輩!!
クロースアップ別大生
学びのトビラ
研究室訪問
学部のトビラ
石垣祭&秋桜祭
学園祭レポート

編集／別府大学・別府大学短期大学部 広報室 発行日／平成29年3月15日 印刷／佐伯印刷株式会社
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-67-0101
禁無断転載



真理はわれらを自由にする

Be-Museum



「海の中」

松下 依里香 (文学部 国際言語・文化学科 絵画コース 研究生 平成28年度修了)

海は広く、どこか懐かしさを感じさせる。どこまでも広がる空間や
懐かしい気持ちを表現できていたらいいと思う。

(S100号 キャンパス、ミクストメディア)

“はじまり”を見つけよう!

2017 別府大学・別府大学短期大学部

オープンキャンパス

4.29 海の日 7.17 海の日 8.19 SAT

お問合わせ 入試広報課 TEL.0977-66-9666 [詳細はHPをご覧ください]

- ・全体説明
- ・入試説明
- ・学科別ガイダンス
- ・在学生との懇談会
- ・保護者対象説明会
- などを予定しています。

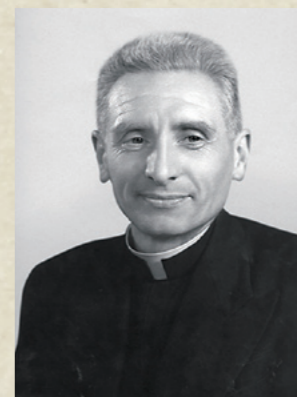
別府キャンパス会場

文学部	国際言語・文化学科	食物栄養科学部	食物栄養学科
	史学・文化財学科	短期大学部	発酵食品学科
	人間関係学科		食物栄養科
国際経営学部	国際経営学科		初等教育科

昼食無料 & オリジナルグッズプレゼント

別府大学アーカイブズ

マレガ神父と別府大学



マリオ・マレガ神父

2011年、バチカン図書館で、1万点を超える豊後地方のキリシタン関連史料が発見され、大きな話題になりました。日本キリシタン研究はもちろん、世界のキリスト教研究や日欧交流史など多くの分野から注目されており、2014年に「マレガ・プロジェクト」が発足し、国際的な研究が進められています。

この膨大な史料をバチカン図書館に送ったのは、イタリア出身のマリオ・マレガ神父（1902～1978）です。1929年に宣教師として来日し、1932年頃から大分で布教活動を

行っていました。日本研究に熱心で『古事記』のイタリア語訳にも取り組んでいました。本学創設者である佐藤義松とは戦前から親交があり、本学の前身である女子専門学校及び別府女子大学では、ギリシア・ラテン語の講師を務めていました。

昨年11月27日に開催した、「別府女子学院開学70周年記念講演会」では、マレガ・プロジェクトのメンバーである、京都外国語大学のシルヴィオ・ヴィータ教授を招き、「マリオ・マレガ神父の大分・戦前・戦中・戦後」と題して、講演していただきました。ヴィータ教授は、バチカンに残る史料やマレガ神父が自身の半生を描いた絵巻物などから、マレガ神父は大分を第二の故郷として深い愛情を持っていたことを紹介されました。本学にとっても重要な人物であるマレガ神父。今後、その功績を顕彰していきます。

特集

学校の先生を目指そう！

今、「先生になりたい」という人には大きなチャンスが到来しています。現職教員の大量退職により採用枠が広がっており、教員採用試験の倍率も低下傾向にあります。教員養成に伝統と実績のある別府大学で、学校の先生を目指そう！



文学部 史学文化財学科3年
並木 章悟
(宮崎県立延岡星雲高校出身)



短期大学部 初等教育科2年
宮本 聖奈
(大分県 大分東明高校出身)



60年以上の実績

別府大学の教職課程は、1951（昭和26）年に開設が認められて以来、今日まで60年以上の伝統と実績を積み重ねてきました。また、短期大学部初等教育科は、幼児・児童教育における大分県内最大の教員養成機関です。別府大学、別府大学短期大学部ともに、教員を目指して入学する学生も多く、卒業した多くの先輩たちが大分県内を中心に全国の高校、中学校、小学校、幼稚園で活躍しています。

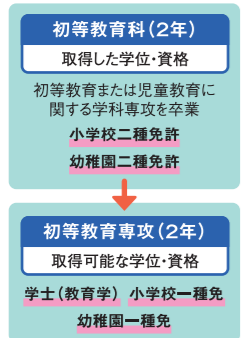
教員免許取得件数

学 科	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
大 学	国際言語・文化学科	33	28	37
	史学・文化財学科	29	42	32
	人間関係学科	2	1	4
	食物栄養学科	12	8	5
	発酵食品学科	3	6	0
	国際経営学科	3	4	0
大 学 短 期 部 期	食物栄養科	16	8	7
	初等教育科	178	200	212
	保育科	52	63	54
	専攻科初等教育専攻	23	26	26

※いずれの年も、栄養教諭免許状は、申請に必要な単位を修得した件数
※平成28年度は、取得見込件数

※今号では、平成29年度の学年で掲載しています。

- 03 特集
学校の先生を目指そう！
- 08 学園祭レポート
「石垣祭」&「秋桜祭」
- 10 学科からのトピックス
- 16 キャンパスボイス
林家宏
(国際経営学部 国際経営学科 平成28年度卒業)
廣岩 絢都
(短期大学部 初等教育科2年)
- 15 研究室訪問 学びのトピラ
短期大学部 食物栄養科 講師 藤岡 竜太
- 14 テーマ／朝ごはん何を食べましたか？
- 18 Be-Recipe
モチツとかぼ茶巾
別大生の御用達
DIG COFFEE
- 19 サークル紹介
フットサル
演劇部
- 20 卒業生インタビュー こんにちは先輩!!
立花 志保さん
(別府大学大学院文学研究科
日本語・日本文学専攻博士前期課程修了)
大谷 健一さん
(別府大学短期大学部 専攻科福祉専攻修了)
- 22 地域連携
九州学シンポジウム
「天瀬まちづくり大学」開学！
- 23 インフォメーション



短大卒業時に二種免許さらに専攻科で一種免許を取得

短期大学部初等教育科では、卒業までに小学校教諭一種免許、幼稚園教諭二種免許の取得が可能です。さらに専攻科へ進学し2年間の課程を履修することで、小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許が取得できます。また、初等教育科では保育士の資格を取ることできます。



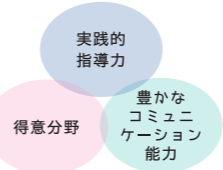
短期大学部初等教育科は、幼児・児童教育における大分県内最大の教員養成機関。県内外でたくさんの先輩が活躍しています。



中学校・高校の先生になるには、所属する学科・コースで専門知識を学びながら、教職課程で教員免許取得を目指します。

別府大学の教職課程で育てたい「3つの教師像」

教職課程では(1)専門職業人として実践的指導力を持つ教師 (2)得意分野を持つ個性的な教師 (3)豊かなコミュニケーション能力をもつ教師の育成を目標としています。その根底にあるのは「真理はわれらを自由にする」という建学の精神。まずは自らの専門を磨くことで、得意分野を掘り下げ、教師としての個性や実践力を身につけた教員養成を行っています。



指導体制が整った 免許取得までのカリキュラム

教職科目の履修は2年次からスタートし、卒業時までに必要な単位を取得します。さらに3年次の「介護等体験実習」、4年次の「教育実習」を経て「教員免許状」が与えられ、公立の学校なら各自治体の、私立学校であれば学校ごとの教員採用試験に合格することで晴れて教師になれます。別府大学の教職課程には、すべての段階で細やかな指導を受けられる体制が整っています。

教科の奥深さを伝える 専門性の高い教師に!

教員免許を取得するためには、まず所属する学科で卒業に必要な単位を取得しなければなりません。と言うと大変そうに聞こえるかもしれませんが、専門の学問を突き詰めることで、生徒にそれぞれの教科の奥深さを伝えることができます。専門教科に強いユニークな教師を別府大学では育ててきました。



専門を深めることで、生徒の興味を引く授業に結びつきます

卒業生や地域の人々による バックアップ体制が強い

毎年、同窓会の主催で「教職受験対策セミナー」を開催しています。また教育実習の事前の指導では、正規採用のOB・OGに現場での経験を語ってもらうほか、大分県や別府市などの行政、地域の関係者、学園の先生などさまざまな立場から「教師」に必要な資質能力を話していただきます。教職課程履修者の質の向上とモチベーションアップに繋がっています。



先輩方の経験談は在学生にとって貴重なアドバイス



履修の段階に応じて学んだことを書き留めるノート。担当教員からのコメント欄もあり、教師になってから振り返り「初心に戻れるように」との願いが込められたオリジナル仕様

1980年から教職課程履修者に年一回配布している「教職への道」には大学の先生方からの応援メッセージや先輩の実習・採用試験受験体験談が綴られておりとても好評

九州唯一のプログラム 「教育マイスター研修」

小学校の教員養成に特化した九州唯一のプログラム。専攻科で一種免許の取得を目指す学生が、別府市内の小学校で3ヵ月に及ぶ教育実習に臨みます。これは、ベテラン教師のもとでその技を直に学ぶ徒弟制度で、別府市の協力も得て行われます。実習を経て、学生は教師という職業にリアリティを持つようになります。



様々な学級に入り、授業の組み立てや学級環境などクラスづくりを学びます

ポイントを押さえた 万全な教員採用試験対策

教員採用試験で登竜門となるのが2次試験の模擬授業。短期大学部の場合、現役の学生たちは教育実習前の受験となるため、模擬授業の対策は必須です。経験不足を補うためのポイントを押さえた的確な指導を授業外の時間に行うなど、万全のバックアップ体制を整えています。また、体育や音楽などの実技試験の対策も講じています。



2次試験に向けてしっかり対策に取り組みます

採用実績100% 東京都の小学校教諭推薦枠

初等教育科では毎年、東京都の小学校教諭1名の推薦枠を獲得しています。これまでに東京都で活躍したいという人、また関東方面出身の学生からの応募があり、その採用実績は100%です。ちなみに推薦枠は1次試験が免除。東京都は2次試験までとなるので、東京都の求める教員像に基づいてしっかりと面接試験対策を行っています。



東京都で活躍できるチャンスです

別府大学短期大学部で取得できる教員免許

免許状種別	中学校教諭2種免許状	2種免許状 栄養教諭	2種免許状 小学校教諭	1種免許状 小学校教諭	2種免許状 幼稚園教諭	1種免許状 幼稚園教諭	司書教諭
	家庭科						
食物栄養科	●	●					●
初等教育科			●		●		
専攻科 初等教育専攻				●		●	

教員への就職状況 (平成25~平成27年度)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校教諭1種・2種	9人	17人	10人
幼稚園教諭1種・2種	37人	35人	63人 (※36人)

※印は、認定こども園へ就職した卒業生数(内数)

別府大学で取得できる教員免許

免許状種別	中学校教諭1種免許状					高等学校教諭1種免許状					栄養教諭1種免許状	司書教諭		
	国語	社会	理科	美術	英語	国語	地理歴史	公民	理科	美術			商業	福祉
文学部	国際言語・文化学科	●			●	●							●	●
	史学・文化財学科		●				●							●
食物栄養科学部	食物栄養学科													●
	発酵食品学科			●					●					●
国際経営学部			●							●				●

教員への就職状況 (平成25~平成27年度)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
高等学校教諭1種、中学校教諭1種	10人	11人	9人

※当該年度卒業者のうち次年度より教員に就職した場合の人数が示されている

大学院で取得可能な「専修免許」とは?

大学院では中学校(社会、国語、美術)、高校(地理歴史、国語、美術、公民)、栄養教諭の「専修免許」が取得可能。専修免許とは教員免許状で最も専門性が高いもので将来管理職を目指す場合に有利とされています。

先輩に聞きました！

道 のり までのり

現役 祝 合格

平成29年度の教員採用試験にみごと現役合格した二人の先輩に後輩たちがインタビュー。合格する極意、教えてください！



先輩

先輩

大分県と福岡市の採用試験で
中学国語教諭に合格！

大分県の採用試験で
中学英語教諭に合格！

夢は母校の
社会科教諭！

この春から
教養試験対策を
スタート！

国際言語・文化学科
平成28年度卒業
佐野 めぐみ
(大分県立大分商業高校出身)

国際言語・文化学科
平成28年度卒業
中村 舞
(大分県立大分西高校出身)

史学・文化財学科4年
古澤 直樹
(大分県 楊志館高校出身)

史学・文化財学科3年
並木 章悟
(宮崎県立延岡星雲高校出身)

授業がいちばんの 試験対策

古澤▶先輩たちはどうして先生になろうと思ったんですか？

佐野▶中学校時代にいじめを体験しました。そういう子どもを助けてあげられる教員になりたいなあと思って。



中村▶私は、中学校1年のときの担任の先生に憧れて。明るくて情熱的な先生だったから。

並木▶採用試験の勉強はいつ頃から始めましたか？

佐野▶教養試験対策は3年の9月から、問題集を何度も繰り返し解きました。で、気づいたのは授業で習ったことがそのまま問題になっているということ。

中村▶そうそう、日頃の積み重ねが大事。私は授業自体が試験対策だという感覚でした。

古澤▶「これをやっておいたほうがいいよ」って思うこと、教えてください！



佐野▶中・高の免許は専門科目があるからその勉強ばかりに集中しがちです。でも、他のことにも目を向ければよかったなあって思う。私は国語科だけど、授業で図書館を使うから司書教諭の資格も取っておけばよかった。



中村▶わかる！私は英語科だけど、日本語教員養成の授業も履修しておきたかったなあ。それから塾講師のアルバイトはやってよかった！教育実習で経験が活かされました。

並木▶教育実習の前後で何か心境の変化はありましたか？

佐野▶模擬授業をたくさん練習したのに、実際教壇に立ってみると全然うまくできなくて(汗)。もっと頑張らないか！と思いました。

先生を頼って目指せ 現役合格！

佐野▶別府大学の教職課程の先生たちって、みんな質問したことに對して3倍の答えを返してくれるから大いに頼るべきだよ。

中村▶先生に限らずいろんな人と話をして、自分の意見を持つておく面接試験で有利。

佐野▶そう！普段から自分の教育

論を蓄積しておくことが面接には必須。自分の考えを素直に話すことが大事！

古澤▶僕、私立高校の採用試験を受けようと考えているんですけど、同時に一般企業の就職活動をするかどうか迷っています。

中村▶私も両立を考えた時期はあったけど、教職一本に絞ることでプレッシャーをかけて頑張れたかな。「ぜったい先生になる！」って。

佐野▶真剣に頑張れば、必ず現役合格できるよ！

並木▶ダブル受験はしたほうがいいですか？地元で働きたいのですが、先生になれるなら、他県でも受けようと思ってるんです。

佐野▶そうだね、本命の練習にもなるから絶対いいと思う。

中村▶いつか私たちが、教育現場で一緒に働ける日がくるといいね。ふたりも頑張つて！応援しています！



先生になるぞー!! おおー!!



合格者 interview



大分県の採用試験(小学校教諭)に合格
短期大学部 初等教育科
平成28年度卒業
若杉 果林
(大分県立大分豊府高校出身)



大分県の採用試験(小学校教諭)に合格
短期大学部 専攻科
平成28年度修了
大久保 亜由美
(大分県立大分西高校出身)

先生方や友人たちの支えがいちばんの勝因

現役で教員採用試験に合格できるとは思ってなくて、振り返れば先生方や友人たちの支えがあったことがいちばんの勝因だったと感じます。先生方は、1次試験の前には数年分の過去問を準備してくれたうえ各教科の先生が質問とことん付き合ってくれましたし、2次試験の模擬授業や実技の対策もフォローしてくれました。配点が高い模擬授業の練習に集中しがちですが、実技でしっかり得点できると強みになります。その点、初等教育科ではピアノの先生からレッスンが受けられるので特に弾き歌いには自信を持って臨みました。3次試験の面接や集団討論に関しても、子どもに関する世論を敏感にキャッチして考える習慣がベースにあり、「他の人の意見をよく聞き自分の考えを述べる」というポイントをおさえて発言できたと思います。

小学校の頃、転校が多く学校に馴染めずにいた私に、ある先生が「あなたは人よりたくさんのお会いや価値観に触れられる。それを大切に」と言ってくれたんです。この言葉が私の人生変えてくれました。私も、一人ひとりの個性を大切にできる先生になりたいです。

実習で得た多くの経験がそのまま試験対策に

別府大学短期大学部の教職課程の魅力のひとつは実習の多さだと思います。初等教育科では1年次に幼稚園で1週間、2年次に小学校で3週間の実習が。さらに専攻科へ進むと4週間の教育実習に加え教育マスター研修があり小学校で3ヵ月、インターンシップのような感覚で現場実践を積むことができます。小学校か中学校、どちらかの先生になりたいと迷っていましたが、4年制大学の人より早い段階で実習に行くことができ、その経験を通じて「小学校の先生になろう」と決意できました。

教育マスター研修の実習先の先生は授業づくりも学級づくりも完璧で、願ってもないお手本です。すべてを吸収するつもりで取り組みました。また実習は、教員採用試験の模擬授業をクリアする指導力も補ってくれたと感じました。私は、実習先の先生の授業を見ながら先生(Teacher)と子ども(Children)の発言を記録する「TC表」をつかってやりとりを観察し、模擬授業対策に役立てました。別府大学で教師を目指してよかった！クラスを受け持ったら、子どもたちが「明日も学校に行きたいなあ」と思える教室づくりを目指したいと思います。

OB&OG interview



別府市立朝日小学校教諭
寺岡 唯さん
短期大学部 初等教育科専攻科
初等教育専攻修了
(大分県 明豊高校出身)



学校法人日南学園
日南学園高等学校教諭
平田 雄也さん
発酵食品学科 平成24年度卒業
(宮崎県立延岡星雲高校出身)

児童たちの小さな成長を発見する喜び

4年生の担任をしていますが、元気が良い児童が多く、授業にも意欲的です。今、子どもたちは「2分の1成人式」に向けて、周りへの感謝の気持ちに目が向き始めています。そんな小さな成長を積み重ねていく姿が嬉しく、教員として励みになっています。

成長期を支える食の大切さを伝えたい

理科教員として毎日、忙しく過ごしています。様々な経験の中、生徒が成長していく姿に励まされています。本校では部活生が多く、食育に力を入れています。成長期で勉強にも部活にも食事が大事な時期です。学科で学んだ栄養の知識や発酵食品を紹介し、食事の大切さを伝えています。

※勤務先は、平成29年3月1日現在

熊本・大分地震復興支援
プロジェクト「今を、好きに。」



似てても似てなくても
100円！似せるんジャー



タビオカ
ドリンクは、
いかが？

大好評！
教員イラスト



石垣祭

2016.11.5 sat & 11.6 sun
in 別府キャンパス

テーマ Sky is the limit

4月に起きた熊本・大分地震からの復興へ向け「空のような無限大の可能性」をテーマに掲げました。地域の方々に元気を届けるべく、活気あふれる企画がたくさん行われました！1日目にはゴリけんさん、2日目にはWエンジンさんをお招きした「お笑いLIVE」は大いに盛り上がりました。

沖縄県人会の
エイサー



ミス別大♡

短期大学部 食物栄養科
2年 高羽りょう
(大分県立佐伯鶴城高校出身)

ミスター別大☆



国際経営学部 国際経営学科
3年 小西 悠友
(大分県 明豊高校出身)

夢米(ゆめ)棚田チーム！



書道研究室
パフォーマンス



軽音サークルの
ライブ！



別府大学吹奏楽団



おいしいものたくさん！

みたらし
団子



たこやき



絶品とり飯



おでん！

いろいろ
しゃい！！



箱の中身は
何だろうな！？



イケメン三人衆!?



会場が沸いた
二人羽織



秋桜祭

2016.11.26 sat
in 大分キャンパス

テーマ Finale

大分キャンパスでの最後の学園祭。ステージや模擬店、本学沖縄県人会によるエイサー舞踊など多彩な企画に加え、ヒットパレードクラブから「ヒットパレダーズ」、九州アフリカンサファリから「移動動物園」も行われました。恒例の「ソーラン節」も会場を華やかに彩りました！

大分南高校書道ガールズ
パフォーマンス！



おいしいよ！

おひとつ
いかがですか？



茶道部



Anba in
'Blue Birds!'



ソーラン節演舞



ヒットパレード
クラブ





3号館ホールでの記念式典

発酵食品学科 10周年記念イベント

発酵食品学科

発酵が切り拓く未来

10月29日、発酵食品学科開設10周年の記念行事として、「発酵が切り拓く未来」と題して記念式典、記念講演会、及び卒業生による試飲・試食会が催されました。

記念式典では、三和酒類株式会社の高下秀春取締役から、「大分の発酵食品関連産業の人材育成と研究教育へのさらなる貢献を期待します」と祝辞をいただきました。

記念講演では、「発酵ー味噌が切り拓く未来」と題し、広島大学の渡邊敦光名誉教授に講演していただきました。渡邊先生は、長年味噌の抗癌効果や放射線防御作用



発酵食品学科OB・OGが自社商品をPR



記念講演講師の渡邊敦光広島大学名誉教授

ご協力いただいた企業の皆様、どうもありがとうございました。

参加企業	協賛出品
<ul style="list-style-type: none"> ■(株)秋川牧園 ■(株)キュレイ ■旭酒造(株) ■(株)クオレラ本社 ■カネヨ醤油 ■(有)稲屋本店 ■葦島酒類(株) ■(株)児湯食鳥 ■九州乳業(株) ■サンアスペルフーズ(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ■田苑酒造(株) ■三和酒類(株) ■二豊醤油協業組合 ■別府大学焼酎「夢香米」 ■マルヤ醤油 ■ゆふいんビール(株) ■四ツ谷酒造(有)

について研究をされており、味噌を代表とした和食中心の食生活が日本人の健康の維持にいかんにかん重要であるか、例を挙げてわかりやすく説明されました。

第三部の卒業生による試飲・試食会では、発酵食品学科の卒業生が就職している県内外の醸造メーカーや食品関連企業15社から、卒業生が自社商品を持参してPRしました。人気商品を試飲・試食しようと各ブースには人だかりができていました。先輩と後輩との交流にもなる今回のようなイベントを、今後も継続したいという声もあがっています。

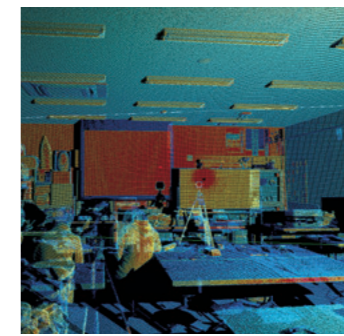


ドローンのフライト講習会の様子

秋葉鬼塚古墳
(豊後大野市・前方後円墳3Dモデル)



3Dレーザースキャナー講習会の様子



教室内の3次元計測データ(講習会時)



第1回九州文化財保存学研究会の様子

収穫したお芋を使って おやつ作りに挑戦

「応用栄養学実習」で、園児と調理実習

11月28日、食物栄養学科2年次に開講している「応用栄養学実習」の一環で、別府大学附属幼稚園の年中組の園児たちと、さつまいもを使ったおやつを作りました。附属幼稚園が例年行っている芋掘りで収穫されたさつまいもを子どもたちの手で調理して、食べさせたいと幼稚園の先生よりご相談を受けたことがきっかけで始まった企画で、今回で7年目です。初年度に作ったさつまいものロールケーキが好評であったことから、毎年ロールケーキと学生提案のさつまいもを使ったおやつ2品を作っています。園児たちに「食べることに興



お芋の美味しいケーキができてニコリ

味を持ってもらうだけではなく、学生たちにとっても、楽しく、安全に子どもたちへ指導する方法を学ぶ場となっています。

トマトと真鯛をつかった 洋風お鍋で勝負!

食物栄養学科

愛媛県愛南町「愛育フィッシュ 我が家のオリジナル鍋選手権」出場

11月13日、愛媛県愛南町で開催された「愛育フィッシュ我が家のオリジナル鍋選手権」で食物栄養学科3年の新貝菜々央さんが、「栄養満点賞」を受賞しました。この選手権は愛媛県産魚を使った鍋レシピを全国募集したもので、一次、二次審査を経た新貝さん作品を含む5種で最終選考されました。

新貝さんは「食品保蔵科学」の課題で、トマトベースにチーズをあしらった真鯛の洋風鍋「シメまで一直線!鯛のトマチ鍋」を考案、栄養価が高く、年代問わず



同科の柳井優希さん、山田悠花さん、橋本弥希さん、成松伽峰さん、二保朱里さんとともに出場しました

ず喜ばれる。として見事本賞に選ばれました。レシピを知りたい方は食物栄養学科までどうぞ!

新しい文化財のネットワークを構築

平成28年度私立大学研究ブランディング事業に採択

01

史学・文化財学科

平成28年11月に文部科学省の「平成28年度私立大学研究ブランディング事業」に、別府大学文学部の史学・文化財学科が中心となって提出した、「九州における文化遺産保護研究の拠点形成のための基盤整備事業」が採択されました。本事業は、学長の下で推進される全学的な取り組みとして支援するという文部科学省の事業で、129の申請校の中から採択されました。

平成28年4月の熊本・大分地震を契機に、文化財の修復、再建のための保存対策研究、および地域連携の確立が急務となっています。そのためには、各自治体等と連携しつつ、文化遺産の保存・保護への技術的研究、技術の再教育事業を進め、地域の災害等の緊急時や、恒常的な文化財保存力の向上を図るための体制基盤の確立を進める必要があります。そこで、史学・文化財学科を中心に文化財関係の専門人材を数多く輩出してきた実績がある本学が、「九州内の文化遺産の保存・保護への技術的研究」、「文化財の修復・再建のための保存対策研

究」の体制を構築し、九州の文化財研究の拠点化を目指す事業です。

事業の初年度である2月4日には、本学のメディアホールにおいて、「九州文化財保存学研究会」が開催されました。九州各県や市町村39団体から70人の文化財専門職員が参加し、文化財の保存学向上に向けた共同研究のあり方や、文化財の修復・再建を視野に入れた調査研究方法の確立に向けた取り組みについて議論し、今後も研究会(名称が変更になる可能性有)を継続していくこととなりました。

さらに、本事業に伴い、文化財の保護・防災の観点から、3Dスキャニングレーザーシステム、3Dプリンター、ハンドヘルド蛍光X線分析装置、X線透過装置(デジタル)など最新の研究設備を導入し、「恒常的な文化財の保存力の向上」を図るための研究を実施していきます。

04

国際言語・文化
学科

4年間の想いを 込め創作に挑む

平成28年度 卒業制作展

文学部国際言語・文化学科の卒業制作展を2月7日〜12日に大分県立美術館OPAMにて開催しました。
絵画コースでは油彩作品29点、デザインコースはグラフィックデザインやパッケージデザイン、ウェディングドレスデザインなど、マンガ・アニメーションコースでは、ストーリーマンガ冊子とそのパネル展示を行いました。また、今回初めての試みとして、芸術系論文のポスターも展示しました。延べ1031人の来場者があり、学生たちに叱咤激

励の言葉も多くいただきました。学生たちは、制作へ情熱を傾け、また創作の苦悩を経験しながら乗り越えていきました。その成長の過程が卒業後のさまざまな生き方に活かしているものと信じています。



学びの集大成を発表

05 地域を肌で感じた 「ゴミ拾い授業」

国際経営
学科

観光の中心地、鉄輪地区で環境学習

国際経営学科は1月7日、別府観光の中心地、鉄輪地区で「ゴミ拾い授業」を実施しました。「観光と地域社会を見直そう!」「地域の環境問題を学ぼう!」をスローガンに行われたゴミ拾いは、観光・地域経営の基礎授業の一環であり、1年生を中心とする約100人が参加しました。
観光地で清掃活動を行うことは、観光と地域社会の問題を考える機会になります。また地域の環境問題を肌で感じるきっかけにもなるほか、協調性や社会性を



湯けむりを横目にゴミ拾い

養うこともできます。集まったゴミは全部で24袋。学生からは「身近にある観光地にますます親しみを持つことができた」「たばこの吸い殻が多いのに驚いた」などの感想が寄せられました。

07 オリジナルダンスで、 子どもたちの 心を掴もう!

07

短期大学部
初等教育科

創作ダンス発表会



練習の成果を發揮!

平成28年度の優勝チーム

初等教育科では、身体表現の授業(1年生の一環として、創作ダンスの発表会)を実施しており、1月18日に大盛況のものと行われました。グループは、1チーム10人程度から成っており、全部で16チームが約200人を前にして、創作ダンスの発表を行いました。授業(5コマ)と時間外を利用して、選曲・振付・衣装・フォーメーション・小道具の作成などをすべて学生達がグループで協力して進めます。この創作ダンスの主なルールとして、「最低1曲は子ども向けの

曲を入れること」としており、実際に幼稚園や保育園に就職した際に、活用できるような内容となっています。
発表会後の感想として「みんなで意見を出し合ったり、教え合ったりできたのは良い経験になった」「グループのみんなの意見を合わせるのが難しかったが、もう放課後遅くまで一緒に練習できなくなるのが寂しい」などが挙げられ、グループで協力する経験を通して、その難しさや楽しさなどを学んだようでした。

06

人間関係
学科

金曜日の夜の炊き出しに 参加

北九州市でホームレス支援



この日の炊き出しでは、お弁当を配布

人間関係学科では、2月3日・4日、北九州市におけるホームレス支援の参加を企画・実施しました。同活動は、認定NPO法人・抱樸(ほうぼく)が長年行ってきたものであり、20時からの炊き出しと22時30分からの巡回支援に同職員やボランティアの方々と共に参加しました。
職員の方々は、公園のベンチやビルの間で横たわる路上生活者に、体調を気遣いながら声をかけていました。多くの対象者とは既によく知っている関係で、毎週金曜日の夜を待っているということでした。参加した学生は、「ホームレスという言葉で括るので

はなく、一人ひとりの人間として見る事ができた」「ベンチに設置されたアームも、ホームレスの人が横になれないようにする機能を果たしていると知り、社会的排除の現実を知った」と感想を述べていました。
また、ホームレスの人々を受け入れる施設の見学では、路上生活者の多くが知的障がいを持つことを知り、生活困窮・就労支援、福祉的援助など、複合的支援をする必要を学ぶことができました。学生にとっての学びの場として、今後とも継続して参加できるように学科全体で取り組んでいきたいと思えます。



北九州自立センターにて

08

短期大学部
食物栄養科

学生たちが ステップアップ!

校外実習報告会ほか

校外実習報告会
12月18日、2年生が8月に行った病院実習で学んだことを、学科の先生方や後輩の1年生の前で発表しました。2年間の集大成として発表する姿は、入学した時に比べると大きく成長したように見えました。
学生コンクールでも活躍
大分県農林水産祭のスローガン募集において、1年の森田早也香さんの「しんけん 美味(うまい)けん! 大分県!」が採用されました。昨年に続き、2年連続で本科



実習での学びをスライドを使って報告

09 親子で楽しむ手作り クリスマスツリー

短期大学部
保育科

ハッピーキッズクリスマス
in グランシアタ

12月25日、大分県エスエスグランシアタで開催された「ハッピーキッズクリスマス in グランシアタ 五感を使って遊ぶゾウ」に、保育科の1年生12名がボランティアで参加しました。このイベントは、0才〜小学生を対象に、五感を使って遊ぶコーナーを館内に設置し、親子で楽しむ会場構成でした。保育科は、「触るゾーン」のコーナーで、画用紙やモールを使った手作りクリスマスツリー作り体験を行いました。自宅でクリスマスツリーの演出になるよう、出来上がったツリーは、袋に入れりボンを付け、プレゼントと



思い思いの飾りつけを楽しんでいました

して持ち帰ってもらいました。また、ボンボンボールや魚釣りコーナーも大好評。当日は2000人が来場し、子どもたちは全身を使って遊びを満喫していました。



短期大学部 食物栄養科 講師
藤岡 竜太
Ryuta Fujioka



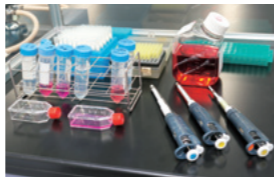
研究室訪問 学びのトビラ

Vol.06

別府大学の学びの最先端をレポートします。

プロフィール

1985年大分県生まれ。2015年九州大学大学院システム生命科学府システム生命科学専攻博士後期課程修了(九州大学生体防衛医学研究所ゲノミクス分野所属)。専門分野は生化学、分子生物学。代謝型グルタミン酸受容体Ⅲ型遺伝子のノックアウトマウスの行動解析に関する研究で博士(理学)取得。ゲノム解析、遺伝子発現解析から遺伝性神経疾患の原因となる遺伝子の研究を行っている。



学生のときから使用している実験器具。実験が成功するための必需品

百見は一試に如かず 遺伝子から病気のしくみを解くことに挑戦

現在、専門に研究しているのは遺伝性神経疾患ですが、実は大学院生のときは精神疾患を研究していました。大学院に入学する時、遺伝子を欠損させたノックアウトマウスの研究をしたかったこと、一番仲のよい友達に精神疾患にかかったことで漠然と精神の病気に興味を持ち研究したいと思ったことの2点をもとに研究室を選びました。

神経疾患・精神疾患に興味を持った学生時代

実際にチャレンジすることの大切さを学生みなさんに期待したいと思っています。まずは行動に移すこと、私自身にも言い聞かせています。

五感が大切

私は短期大学部食物栄養科に在籍し、講義だけでなく実験科目も担当しています。実験内容を理解するには「五感で感じる」ということを大切にしています。このことをモットーに授業をしています。

見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れる、できるだけこの経験を学生みなさんに体験してもらえようという心掛けています。「百見は一試に如かず」という言葉があります。実は、それには続きがあり、「百見は一試に如かず」となるのです。見ることにより五感を働かせるのももちろん、失敗してもよいので一度試して五感をより働かせてみようということです。

継続は力なり

大学院生として統合失調症に関連するノックアウトマウスの行動解析、神経生理学的解析、遺伝子発現解析、薬理学的解析に携わり、幅広く勉強できたのは、とても大きな糧となっています。今も九州大学と共同研究をさせていただき、精神疾患から同じく脳が関連している神経疾患にシフトして難病の遺伝性神経疾患を研究しています。共同研究者とともに神経難病の方のご自宅に伺うこともあり、家系から遺伝性神経疾患に関連した遺伝子の特定を目指しています。

遺伝性神経疾患だけでなく、喫煙によって誘導されるエピゲノム変化の分子機構に関する研究もしています。喫煙によって遺伝子領域のある部分に遺伝子配列は変わらないのに、遺伝子のはたらきを決めるしくみに異常をきたすことが分かっています。それをもとにタバコに含まれる化学物質の中で何がその原因を引き起こしているのかを特定しようとする研究でした。ヒトの細胞にタバコに含まれる化学物質を1年以上継続して暴露させる実験を積み重ねていきました。1回に4本吸うことができるタバコ煙抽出装置を作るなど、いろいろ試行錯誤して研究しましたが最終的には特定できませんでした。しかし、2年間毎日毎日継続し積み重ねて一つずつ失敗をなくしていく過程を経て、今思うと一番、充実した研究をしていたと実感できる日々だったように思います。

~ Other sides of Ryuta Fujioka ~

元々からだにいい成分を抽出して、化粧品やサプリメントに活用しています。



恩師からいただいた「MOLECULAR BIOLOGY OF THE CELL」。英語が苦手なので苦労しました。

がん細胞から抽出した成分を、化粧品やサプリメントに活用しています。



「おーいお茶」新俳句大賞で、都道府県賞をいただきました。

俳句

私の祖母が俳句、祖父は短歌に親しんでいます。私自身は習ったこともないのですが、伊藤園の「おーいお茶」の新俳句大賞で都道府県賞を受賞しました。半纏姿の祖父の後ろ姿を見てカツコよく思えて(笑)。「半纏の重みが語る九十年」と詠んだのですがたまたま賞をいただきました。実はここ2、3年句作を続けていました。初めて賞金をいただき、ペットボトルに俳句が載りました。これも継続は力なりですね。友達が早速コンビニで私の句が載っているペットボトルを買って持ってきてくれました。コンビニでも売られているようです(笑)。

朝はほとんど食べません。代わりにお昼を多めに食べています。

バナナ2本、紅茶

文学部 人間関係学科
3年 菊岡 琢真
(鹿児島県 屋久島おおぞら高校出身)

食べないと元気がでないのが毎日食べます。栄養があるので納豆にしています。

ごはん、納豆

文学部 人間関係学科
3年 柳川 七海
(神奈川県 東海大学付属相模高校出身)

寝過ごさなければ毎日食べています。和食が好きで、鮭があるときは、肉巻きおにぎりが塩にぎりに変わります。

肉巻きおにぎり、みそ汁

国際経営学部 国際経営学科
4年 松本 睦未
(大分県立国東高校出身)

キャンパスボイス Campus Voice

毎日少しでも食べるようにしています。食パンにマヨネーズを塗ってこんがり焼きます。

マヨネーズパン、コンスープ

文学部 国際言語・文化学科
4年 園師 杏子
(宮城県 宮崎第一高校出身)

ちょっと、聞かせて♪別大生に突撃インタビュー

朝ごはん何を食べましたか？

朝ごはんは一日の始まりです。食べないと元気が出ませんよね。今回は別大生の朝食について聞きました。このインタビューで、別大生の朝食事情が明らかになりました！

平日は毎日食べます。毎朝お母さんが作ってくれています。

ごはん、みそ汁、たまご焼き

短期大学部 食物栄養科
2年 目代 真子
(別府市立別府商業高校出身)

日曜日以外はほとんど食べています。寒い日はあったかいものが食べたいですね。

朝食をとる時、1品のみというのは避けた方がよいです。五大栄養素(炭水化物、タンパク質、脂肪、ミネラル、ビタミン)が入った朝食が理想的です。朝食をとっていない人は、まず「朝食をとる」ことから始めてみましょう。

メロンパン、レモンティー

文学部 人間関係学科
4年 濱田 栄美
(長崎県立島原高校出身)

毎日食べていますが、家で食べる時間がない時は学校で食べています。食パンにはイチゴジャムをつけます。

食パン、お茶

国際経営学部 国際経営学科
4年 津野 友香
(大分県立鶴崎高校出身)

朝食ワンポイントアドバイス

立松 洋子 教授
短期大学部 食物栄養科

歌と踊りが大好き! 子どもに寄り添う先生になりたい!

子どもと触れ合うのが大好きで、将来は保育士や幼稚園の先生を目指している廣岩さん。将来の夢を叶えるため、得意な歌やダンスを生かしながら充実した学生生活を送っています。

初等教育科に入学した理由は?

小さい子どもが好きで、保育士か幼稚園の先生になりたいと思っていました。高校時代、出前授業で受けた初等教育科の高濱先生の授業が面白くて、もっと授業を受けてみたいと、入学しました。

歌やダンスが得意(好き)と伺いました。好きになったきっかけなどはなんですか。

私はクリスチャンなので、音楽は身近なものでした。また、小さい頃から母にピアノを習っていたので、ピアノの弾き語りや歌うことが好きです。ダンスは高校生の頃に、動画を見て始めました。最初は見ていただけだったのですが、自分も踊ってみたい!と始めて始めました。ダンスが好きということもあり、初等教育科の創作ダンスではチームのリーダーを務め、無事成功することができました。

地域の教会などで行われるミュージカルにも出演しているそうですね。

私が通っている教会では、毎年クリスマスにあわせミュージカルを行っています。兄が参加するのでついて行ったら、急遽メンバーが足りなくなり、出演することになって…。でもステージに立つことがすごく刺激的だったので、今は自主的に参加しています。

将来の夢は?

将来は子どもに寄り添い、保護者の方とも信頼関係を築いていけるような保育士や幼稚園の先生になりたいです。可能なら県内で就職したいと考えています。

後輩に向けて一言お願いします。

初等教育科は、クラスごとに授業をするのでクラスメイトと仲良くなれます。授業もわかりやすく、面白い先生が多いので、楽しく勉強できます。また、採用試験対策として今のうちからニュースを観る習慣をつけておくと、時事問題に強くなりますよ!

卒業後は別府で旅行会社の起業を目指す 日本語のハンデを乗り越え資格試験に合格

林さんは国際経営学部の留学生で初めて「国内旅行業務取扱管理者試験」に合格しました。旅行会社の起業を目指す林さんにお話を伺いました。

国際経営学部に入學した理由は?

日本と中国の橋渡しをしたいと考え、自分の可能性を広げるために日本に来ました。国際経営学部を選んだのは、中国で日本語学校の先生に推薦していただいたことありますが、別府は自然が多くて空気もきれいだったからです。

「国内旅行業務取扱管理者試験」を受けようとしたキッカケは?

3年時に受講した「旅行業務論I」の講義が面白く、興味をもったのがキッカケでした。試験勉強を始めると日本のいろいろな地域を知ることができ、とても面白かったです。現在、中国からの観光客が増えているので、将来観光業に携わりたいと思い資格試験に挑戦することにしました。また、事業を立ち上げたいと考えようになったのは、資格試験に挑戦し始めた時からです。

資格の勉強はとても大変だったと思います。どのように勉強されましたか?

夏休みに資格対策の特別授業を受け、授業後も大学に残って勉強しました。短期間に集中して勉強したため、とても大変でした。また日本語が読めないし解けないので、その点も苦労しました。一昨年に受験した時は、あとわずかのところで不合格でしたが、昨年やっと合格でき、また留学生としては初めての合格者なので、本当にうれしいです。

一番大変だったことはなんですか?

生活面では、初めての1人暮らしに加え、文化の違いもありましたし、アルバイトもしなければならずとにかく忙しい毎日でした。学習面では、日本語独特の表現の仕方が難しいことや、専門用語が難しかったので苦労しました。

後輩に向けて一言お願いします。

せっかく日本に留学したのだから、そのチャンスを無駄にはいけません。目的もなく漠然と日本に来るのではなく、何かを得るために留学すべきです。自分の可能性を広げるためには、まず努力をすること、そして自分の運命は自分で切り拓いてください。

Closeup! 別大生

キラリと輝く別大生を紹介します。

短期大学部
初等教育科2年
廣岩 絢都
(大分県立杵築高校出身)

国際経営学部
国際経営学科
平成28年度卒業
林家 宏
(中国 煙台開発区高級中学校出身)



チーム一丸となって取り組んだ創作ダンス発表会



教会で行ったクリスマスミュージカル劇に出演しました



国内旅行業務取扱管理者試験に林さんを含め5名が合格



資格試験対策で使用したテキスト



サッカー部

サッカー部

学生たちのひびこ

私たちのフットサル部は、楽しみつつ、やる時は真剣にするサークルです。去年の九州インカレに出場し、ベスト8という結果を残しました。今年は優勝を目指して頑張っています。部員もマネージャーも募集しています。初心者も大歓迎です。みんなで仲良くボールを蹴って気持ちのいい汗を流しましょう。



先輩からもらった大切なユニフォーム



フットサル部 主将
国際経営学部 国際経営学科2年
梶原 雅弘
(大分県 明豊高校出身)

男子部員14名、女子部員15名が所属しているフットサル部は、毎週1回放課後に第1体育館で練習しています。今回は、火曜日の放課後に男子フットサル部取材しました。12月の体育館特有の底冷えは、球を「蹴る」、「走る」という繰り返しの練習を続けていると熱気で暑くなります。

今年は男子フットサル部に新入部員はゼロで、先輩が退部し部員数が減少しました。気持ちを切り替えて再スタート。自分から希望して入り、一緒に頑張ってきた仲間と少ない時間でやるべきことをきちんとやっ

「格好良さ」は地道な努力から

男子部員14名、女子部員15名が所属しているフットサル部は、毎週1回放課後に第1体育館で練習しています。今回は、火曜日の放課後に男子フットサル部取材しました。12月の体育館特有の底冷えは、球を「蹴る」、「走る」という繰り返しの練習を続けていると熱気で暑くなります。

今年から新たにインカレの種目として「フットサル」が加わり、初参加してなんとベスト8に入りました。フットサルは、出場メンバー5人が全員で攻撃に加わり、全員で守る、オンとオフがしっかりとれた競技です。強いチームは、まずチームワークが良いこと、一人ひとりに強みがあればさらに強いチームができます。足が速い人、体幹が強い人など高校時代に経験がなくても大丈夫。スカッとした汗を一緒に流しましょう。

平成28年度 高文連家庭専門部研究・作品コンクール 調理・製菓部門 別府大学賞受賞 モチツとかぼ茶巾



Point

モチっとした食感とかぼちゃ本来の甘さを楽しめるお菓子です。



「別府大学賞」受賞!

大分県立中津東高校
3年 濱崎寿子さん
3年 徳永真弥さん

材料(4人分)

かぼちゃ	350g
食塩	ひとつまみ
無塩バター	30g
牛乳	150ml
片栗粉	20g
上白糖	30g

Be-Recipe レシピ

作って、食べて、元気になろっ♡

平成28年度の「高文連家庭専門部研究・作品コンクール」が12月23日に本学にて開催されました。「別府大学賞」に選ばれたお菓子を紹介します!

作り方

- ①かぼちゃを薄切りにし、食塩を加えてラップをし、電子レンジで15分加熱する。
- ②牛乳、片栗粉、砂糖を鍋に入れて、4~5分加熱する。
- ③もったり固まってきたら、鍋を火から下ろし、スプーンで丸めてバットに冷ましておく。
- ④①のかぼちゃをポテトマッシャーでつぶし、バターを加えて混ぜる。
- ⑤ラップの上にかぼちゃの生地を広げて、③の牛乳もちを包み、形を整えて茶巾にする。
- ⑥お皿に盛り、ナイフでかぼちゃの形に整えたら完成。

サークル紹介

学部、学科を超えた絆は、人生の宝物

学生たちのひびこ

演劇部はなんと言ってもチームプレーです。それぞれがいろいろな部署ごとに分かれ、そこで様々な仕事を行います。時には衝突などありますが、みんながお互いを理解し、そして協力することによって劇が完成します。その達成感こそが一番の魅力であると思います。興味のある方はぜひ入部してください。



演劇部 部長
国際経営学部 国際経営学科2年
中邑 航太
(別府市立別府商業高校出身)



演劇部の歴史を語るシナリオ

一緒に作る舞台は、みんなの汗が詰まっている

7月の顔見せ公演が終わり、8月に小半森林公園キャンプ場(佐伯市)へ2泊3日の「夏キャンプ」、川遊び、カレー作り、ゲームなどとして部員が心を一つにし、12月の定期公演の成功に向けて氣勢を上げました。

それから4カ月、緊張した雰囲気の中、「1幕」を何度も繰り返し、キャスト、裏方の進行(小道具)、照明そして音響の各担当が意見を出し合い、定期公演前最後の仕上げの練習を行っていました。

「演劇とは?」の質問に、即座に部長から「チームプレーです。キャストだけではなく、裏方もみんな協力し

あって、こねて、練ってそこで初めて作品が完成します。でも、作品ができても公演はできません。公演のパンフを作り、広告を取り、そしてチケットを作る。一つでも不十分であれば公演が水の泡となります」

公演をやりきったとき、キャストも裏方も心から「感動」「満足」そして「反省」。4カ月の努力が実を結びます。

演劇部は、さつき祭公演(5月)、顔見せ公演(7月)、定期公演(12月)と年3回の公演を行っています。

喜びや苦しみは味わったものしか分かりません。まずは、観客から...そして一緒に作品づくりに加わりませんか。

演劇部



別大生の御用達

別大周辺のちょっといいお店



アンティークな雰囲気の店内



手づくりケーキとこだわりのコーヒー DIG COFFEE

「アップルパイがおいしい!」と、学生の間で話題になっているのが、別府大学駅そばのDIG COFFEE(ディグコーヒー)です。ケーキとコーヒーが好きなオーナーの堀伸彦さんが2011年9月にオープン。昨年5周年を迎えました。

噂のアップルパイ(300円)は、丁寧に手作業で作ったパイ生地を使っているそう。パイの表面はキャラメリゼしておりパリパリした食感。ブランドがほんのり香るリンゴのフィリング、発酵バターの香ばしさなど、風味豊かでリッチなおいしさです!またコーヒーは、別府市の名店「グリーンスポット」で、ミルクに合う豆を選んでおり、深い味わいがケーキとも相性が抜群です。ラテアートのリクエストにも応じてもらえます。

ケーキ、コーヒーともにテイクアウトもOK。「気軽に立ち寄って!」と、オーナー堀さんと奥様の律子さん(短大食物栄養科のOG!)。ウワサのおいしさ、ぜひ味わってみてください。



看板娘の静流(しずる)ちゃん。通りを歩く学生たちのアイドル♪

別府大学のロゴマークをラテアートにしてくれました!





「風と樹々と空と」勤務
大谷 健一さん

別府大学短期大学部 専攻科 福祉専攻
平成20年度修了(大分県立杵築高校出身)



地域で頼りにされる 福祉のエキスパートをめざしたい



職場の先輩からは「何事にも動じない」と、頼りにされています。

5歳下の弟をはじめ、小さい子どもに囲まれた環境で育った大谷健一さん。自然に子どもと関わる仕事をしたいと思い、初等教育科へ進学しました。学生時代はパネルシアター研究会「ばねっこ」に所属し(ばねっこ8期生!)、各地での公演活動に励んだそうです。卒業後は、1年間で介護福祉士の資格が取れることから、専攻科福祉専攻へ進学。障害児入所施設での実習をきっかけに福祉の道を志し、地元杵築市にある「社会福祉法人みのり村」へ就職しました。「障害者支援施設 白萩園」に配属され、入所者の方の支援を行ってきました。「最初は、入所者の方に自分の思いが伝わらず戸惑いました。しかし、言い方やアプローチを工夫することで、だんだんとコミュニケーションが広がっていきまし」と、大谷さん。7年間の経験を生

「自分の言葉は、自分が一番聞いている」。これは、学生時代、ばねっこ顧問である初等教育科の佐藤慶子先生が講義の中で話していたこと。口から発した言葉は、相手に伝えると同時に自分にも言っていることになる。否定的な言葉を使わず、肯定的な言葉を使うことの大切さを教わり、この言葉を座右の銘としているそうです。

大谷さんは現在、社会福祉士の資格取得目指して勉強中。将来は施設の中だけではなく、地域にも目を向け、さまざまな福祉サービスに取り組んでいきたいそうです。地域で頼りにされる福祉のエキスパートを目指して、勉強と経験を重ねています。



東日本大震災の被災地である福島県いわき市のボランティアへ、自ら志願して参加しました。

大分大学学術情報拠点(図書館)勤務
立花 志保さん

別府大学大学院 文学研究科 日本語・日本文学専攻博士前期課程
平成14年度修了(大分県立大分南高校卒業)



もっと利用しやすく、もっと楽しく 知の情報拠点の仕掛け人



懸賞論文に取り組んでいた学生グループ。まとめた内容を聞きつつ、指摘もビシヤリ。図書館職員を越え、学生たちのよき相談相手でもあります。

大分県立図書館、別府大学附属図書館を経て、大分大学学術情報拠点(図書館)に勤務する立花志保さん。図書企画係として図書館サービスの向上に取り組んでいます。フェイスブックで情報発信をしたり、読書会、ビブリオバトル、ライティング・サポート・デスクの企画など、楽しい図書館づくりの仕掛け人です。

立花さんは子どもの頃からの、文学が好きが高じて、文学部国文科(現、国際言語・文化学科)へ。教員を目指していましたが、文字に囲まれた図書館で過ごす時間が好きになっていくことに気づき、司書を志しました。学生時代には、大分県立図書館でアルバイトを経験。「司書の仕事は、静かなイメージがあったのですが、本の排架作業など体力勝負だし、利用者の方とのコミュニケーションが求められることを痛感しました」。そんな中、利用者の方に本を探すことがあり、「見つけてあげた時、とても喜んでくださったので、自分が役に立てたことがすごくうれしかったです」と、サービス提供の醍醐味を味わいました。この時の経験が今の図書館づくりにつながっているそうです。館内では積極的に学生たちに声をかけ、今どんなことに取り組んでいるのか、どんなことに興味があるのかリサーチ。「別府大学は教職員の方々と学生との距離が近く、アットホームでした。学生時代、先生方に温かく接していただいたことがうれしかったので、私も同じように学生に接したいと思っています」と話す、温かなまなざしが印象的でした。「図書館をもっと良くしていくには、学生の力が必要」と立花さん。今後は学生も巻き込んだ、図書館活性化を画策中です。



立花さん発案の「ブランケットの貸出」。細やかな心配りに学生へのやさしさが溢れています。

地域連携



九州学シンポジウム 「由布院 地域の魅力を世界に発信」

1月21日に公開授業「九州学」の一環として、昨年4月に起きた熊本・大分地震にもめげず、九州観光の復興をめざしている由布院をテーマに取り上げ、九州学シンポジウム「由布院 地域の魅力を世界に発信」を開催しました。

第一部では、由布院のまちづくりを牽引してきた、中谷健太郎氏（亀の井別荘）と溝口薫平氏（玉の湯）をお迎えし、地域の魅力をいかに世界に発信してきたか、お話を伺いました。

由布院は全国でも人気の温泉地ですが、かつては別府の陰に隠れたひなびた温泉地でした。そんな中、由布院らしさを見つめ、由布院ならではの良さを守って行こうと、中谷氏や溝口氏はまちの仲間たちとまちづくりに取り組みました。自然保護運動、海外視察、音楽祭や映画祭、牛喰い絶叫大会などのユニークなイベントの開催など、両氏に当時の思い出を振り返りながら、お話をいただきました。

中谷・溝口両氏は、小さな盆地の自然と歴史を愛し、由布院の仲間たちとスクラムを組み、決して独善的にならず他者の価値観を学び、それを認め、夢を共有して歩みを重ね、成功を勝ち得ました。小さな由布院に対する熱い想いと、ぶれることのない町づくりに、本学も学び、別府大学が進む未来を描いていきたいと思っています。



溝口薫平氏



中谷健太郎氏

11月12日、本学地域社会研究センターは日田市天瀬公民館と「天瀬まちづくり大学」の設置に関する協定書を締結し、学長に篠藤明德教授（人間関係学科）が就任しました。本学は日田市と交流協定を締結していますが、公民館での公開講座に関する今回の協定は、全国でも珍しいことです。

地域社会研究センターでは、大分県下における過疎地域（特に、合併された旧町村）の視察を定期的実施しています。天瀬町でも公民館で連続的に「まちづくりシンポジウム」を開催しており、今回の協定締結は、その土台の上に行われたものです。

天瀬まちづくり大学は、毎年4回の講座を2年間開催するようにしており、同地区の住民約40名が登録し受講しています。第1回は飯沼賢司文学部長による「天瀬町の歴史」が講義され、咸宜園の神童と呼ばれた長三洲が日本の学制制定において果たした功績について語りました。第2回は阿部博光教授による「大分県の再生エネルギー」、第3回は西村靖史教授による「地域で元気に、幸せに!」の講義が行われました。

「天瀬まちづくり大学」開学!

地域社会研究センターが
日田市天瀬公民館と協定締結



天瀬まちづくり大学の開学式で挨拶する篠藤教授

新18号館の 名称が決定しました

この度、新18号館の新築にともない名称の応募を行いました。審査の結果、本学創設者佐藤義詮の教育理念や大学の歴史を明らかにし、広く別府大学の教育の進展に寄与することを願う、「佐藤義詮記念館」とすることが決定しました。



川野美華先生の作品が 装画に選ばれました

本学の卒業生で非常勤講師の川野美華先生の作品が、芥川賞作家田中慎弥氏の『美しい国への旅（集英社）』の装画に選ばれました。採用された「SMOG CAT II」は、不気味だけど愛らしい生き物を描いた油彩画です。銀座で個展を開催するなど、先生の活躍が期待されています。



茶道部に茶道具一式を 寄贈いただきました

別府市在住の藤岡靖世さんが、茶碗や釜、水指、菓子器、花入、香合など茶道具一式を茶道部に寄贈されました。藤岡さんは、「茶道部のみなさんのお役に立てればうれしい。」と部員に伝え、代表の矢幡沙央理さん（食物栄養学科3年）は「大切に使いまします」と、感謝の言葉とともに受け取りました。



「大分県女子柔道選手権」で 女子柔道部が活躍

2月5日に開催された「第32回大分県女子柔道選手権大会」において本学柔道部の山本真央さん（初等教育科平成28年度卒業）が優勝、岡田果穂さん（発酵食品学科4年）が準優勝、室岡明日翔さん（国際言語・文化学科3年）が第3位に入賞する快挙を遂げました。



別府大学吹奏楽団、 九州大会で念願の金賞受賞

2月11日に北九州で行われた「第42回アンサンブルコンテスト九州大会」に、別府大学吹奏楽団クラリネット5重奏のメンバーが出場し、創部以来初となる「九州大会金賞」を受賞しました。「九州大会での金賞受賞は長年、楽団の夢だったのうれしー」とメンバーたちは喜びの表情でした。



別府BBS会が 厚生労働大臣感謝状を 贈呈されました

12月6日に、ボランティア団体「別府BBS会」が長年、薬物・覚せい剤乱用防止に係わる啓発活動に努めた功績により、厚生労働大臣感謝状を贈呈されました。代表の池田真琴さん（人間関係学科3年生）は、「今後この活動を後輩たちに引き継いでいきたいです」と、感想を述べました。



編集後記

新生・広報室が誕生しては3年。この間、別府大学・別府大学短期大学部の名をもっと世間に知らしめようと、県内外へPRに出かけたり、冊子やチラシ作成に動んだりしました。また、東京や大阪などの大学広報研修会にも参加し、さらにはマスコミ関係者と焼き鳥屋で議論したりして広報活動のあり方を追いかけてきました。そして本誌・Be-News、ホームページ。この2つの主要広報ツールの充実をさらに図るべく日夜、追究しています。これを機に、ご意見・ご要望があればぜひ広報室までお寄せください。(あ)

表紙の写真



- ①宮本 聖奈
短期大学部 初等教育科2年(大分県 大分東明高校出身)
 - ②並木 章悟
文学部 史学・文化財学科3年(宮崎県立延岡星雲高校出身)
- 宮本さん並木さんともに教職課程を履修しており、学校の先生を目指して勉強中です!

Be-Newsへのご意見ご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。
別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82
TEL : 0977-66-6262
E-mail : koho@nm.beppu-u.ac.jp